

**セクション 1: 物質または混合物および会社情報**

**1.1. 製品識別**

製品形態 : 混合液  
製品名 : CIP 100™ - プロセス・研究用アルカリ洗浄剤  
製品コード : 1D10

**1.2. 物質または混合物の用途と使用上の制限**

用途 : プロセス・研究用アルカリ洗浄剤

**1.3. 安全性データシート供給者の情報**

STERIS Corporation  
P. O. Box 147, St. Louis, MO 63166, US  
電話番号: 1-800-444-9009 (カスタマーサービス - 科学製品)

**1.4. 緊急時の電話番号**

緊急時の電話番号 米国における緊急通報電話番号 1-314-535-1395 (STERIS) ;  
1-800-424-9300 (CHEMTREC)



輸入者: サンタサーロ&ステリ-プロ ソリューション株式会社  
〒650-0033 神戸市中央区京町 83 三宮センチュリービル 5F  
緊急時電話番号: (81) 78-321-2271 (カスタマーサービス)

**セクション 2: 危険有害性の要約**

**2.1. 物質または混合物の分類**

**GHS-US 分類**

急性毒性 4 (経口) H302  
皮膚腐食性 1B H314  
眼損傷性 1 H318

**2.2. ラベル要素**

**GHS-US ラベル要素**

危険有害性シンボル (GHS-US) :



GHS05

GHS07

注意喚起語 (GHS-US) : 危険  
危険有害性情報 (GHS-US) : H302 - 嚥下すると有害  
H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
注意書き (GHS-US) : P260 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない  
P264 - 取扱い後、手をよく洗う  
P270 - 製品使用時に、飲食または喫煙をしない  
P280 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する  
P301+P312 - 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡する  
P301+P330+P331 - 飲み込んだ場合: 口をすすぐ、無理に吐かせない  
P303+P361+P353 - 皮膚 (または髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を脱ぐ、皮膚を流水で洗う  
P304+P340 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート

2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

- P305+P351+P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズは、容易に外せる場合は外し洗浄を続ける
- P310 - 直ちに毒物センター/医師に連絡する
- P330 - 飲み込んだ場合、口をすすぐ
- P363 - 汚染された衣服を再使用する場合は洗濯する
- P405 - 施錠して保管する
- P501 - 容器、内容物は現地の廃棄規則に従い廃棄する

## 2.3. 他の危険有害性

追加情報なし。

## セクション 3：組成および成分情報

### 3.1. 物質

該当なし。

H フレーズ全文：セクション 16 を参照

### 3.2. 混合物

名称	製品特定手段	%	GHS-US 分類
水酸化カリウム	(CAS 番号) 1310-58-3	10~30	急性毒性 3 (経口)、H301 皮膚腐食性 1A、H314
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	(CAS 番号) 64-02-8	1~5	急性毒性 4 (経口)、H302 眼損傷性 1、H318

## セクション 4：応急措置

### 4.1. 応急措置の記述

- 一般的な応急措置 : 意識がない場合、口から何も与えない。気分が悪い場合、医師の助言を求める（可能であればラベルを表示する）。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師の診断/手当を受ける。呼吸がない場合、人工呼吸を実施する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ。皮膚を流水/シャワーで洗う。皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受ける。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合、直ちに大量の流水で 10~15 分間洗浄し、眼科医の診断/手当を受ける。眼に入った場合、または症状が持続する場合、医師の助言を求める。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後の洗浄を続ける。
- 経口摂取した場合 : 口をすすぐ。意識がある場合、水を飲ませる。無理に吐かせず、直ちに医師に連絡する。

### 4.2. 急性および遅延性の重篤な症状/影響

- 症状/傷害 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
- 皮膚に付着した場合の症状/傷害 : 重篤な皮膚刺激。刺激および灼熱感。
- 眼に入った場合の症状/傷害 : 重篤な眼の損傷。直接入った場合、重篤な刺激、疼痛および薬傷が起り、失明などの永続的損傷に至る危険性がある。
- 経口摂取した場合の症状/傷害 : 口、喉、および消化管の粘膜に薬傷または刺激が生じるおそれがある。

### 4.3. 必要な場合、応急処置および必要とされる特別な処置の指示

追加情報なし。

## セクション 5：火災時の措置

### 5.1. 消火剤

- 適切な消火剤 : 適切な消火剤を使用する。泡、粉末消火剤、二酸化炭素、散水、砂等。
- 不適切な消火剤 : 大容量の水流を使用しない。

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート

2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

## 5.3. 消火作業への助言

- 消火時の指示 : 化学薬品火災の消火は慎重に行い、消火用水が環境中に入り込まないようにする。
- 消火作業用の保護具 : 呼吸用保護具などの適切な保護具なしに火災エリアに立ち入らない。自給式呼吸器を使用する。
- 他の情報 : 有毒な腐食性の塩素ガスが発生するため、塩素系物質と混合しない。

## セクション 6：漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- 一般的な措置 : 煙、蒸気を吸入しない。安全に実施できる場合、漏出を止める。皮膚、眼および衣服に付着しないようにする。

#### 6.1.1. 非緊急対応要員

- 保護具 : 適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡/保護面、ブーツを着用する。
- 緊急時措置 : 必要のない人員を避難させる。

#### 6.1.2. 緊急対応要員

- 保護具 : 浄化作業員は適切な保護装備を装着する。
- 緊急時措置 : 現場を換気すること。

### 6.2. 環境に対する予防措置

- 下水および公共用水への侵入を防ぐ。下水または公共用水に侵入した場合、当局に連絡する。

### 6.3. 封じ込めおよび浄化方法と機材

- 浄化方法 : できるだけ速やかに土や珪藻土などの不活性固体に流出分を吸着させる。弱酸で慎重に中和し、残りを大量の水で洗い流す。流出分を回収する。他の物質から離して保管する。封じ込めできない流出分がかなりの量になる場合、現地当局に相談する。

### 6.4. 他のセクションへの参照

- セクション 8 ばく露防止および人に対する保護措置参照。

## セクション 7：取扱いおよび保管上の注意

### 7.1. 安全な取扱いのための予防措置

- 安全な取扱いのための予防措置 : 産業用に限定された製品。使用エリアの換気をよくし、蒸気の発生を防ぐ。容器を密閉し、吸湿および汚染を避ける。ガス/煙/蒸気/スプレーを吸入しない。飲食や喫煙の前および終業時には、手や露出部分を低刺激性せっけんと水で洗う。未使用分をもとの容器に戻さない。
- 衛生措置 : 取扱い後、手をよく洗う。一般的な衛生および維持管理に気を付ける。製品使用時に、飲食または喫煙をしない。汚染された衣服を再使用する場合は、作業着と私服を分けて洗濯する。

### 7.2. 混触危険性等、安全な保管条件

- 技術的措置 : 適用規則に従う。眼および皮膚洗浄用の設備/水を準備する。適切な換気を行う。
- 保管条件 : もとの容器は必ず換気の良い涼しい場所に保管し、使用しない時は容器を密閉しておく。
- 接触回避物質 : 酸、酸化剤、有機化合物、ハロゲン化合物、クロム、マグネシウム、亜鉛、普通の金属（鉄、亜鉛メッキ、アルミニウム）に接触すると、腐食が起こり、引火性の水素ガスが発生するおそれ。
- 熱源および発火源 : 過度の熱から離して保管する。すべての発火源を除く。
- 保管エリア : 乾燥して涼しく、換気の良い場所に保管する。
- 包装に関する特別なルール : 正しくラベル表示する。

### 7.3. 特定の最終用途

- 追加情報なし。

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート  
2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

## セクション 8：ばく露防止および人に対する保護措置

### 8.1. 管理指標

水酸化カリウム (1310-58-3)		
USA ACGIH	ACGIH 上限値 (mg/m <sup>3</sup> )	2 mg/m <sup>3</sup>

### 8.2. ばく露管理

適切な工学的管理 : ばく露が起きるおそれのある場所に、緊急眼洗浄用噴水と安全シャワーを用意する。蒸気レベルを限界値（TLV）より低く維持するための局所排気が推奨される。適切な換気を確保する。

個人用保護具 : 不必要なすべてのばく露を避けること。本製品を扱うまたは使用する条件に応じて個人用保護具を選択すべきである。保護衣。手袋。保護眼鏡。



手の保護 : 保護手袋、ゴムまたはプラスチック製手袋を着用する。

眼の保護 : ケミカルゴーグルまたはフェイスシールドを着用する。

皮膚および身体の保護 : 適切な保護衣を着用すること。ゴム製のエプロン、ブーツ。

呼吸の保護 : 換気の良いところで作業するか、適切な呼吸用保護具を使用すること。適切なマスクを着用する。

環境ばく露管理 : 環境中への排出を避ける。

他の情報 : 使用時に、飲食または喫煙をしない。

## セクション 9：物理的および化学的性質

### 9.1. 基本的な物理的および化学的性質の情報

物理的状態 : 液体

外観 : 清澄

色 : 清澄～淡黄色

臭い : わずかな薬品臭

臭いの閾値 : データなし

pH : > 13（濃縮液）

溶液の pH : 12.3 ~ 12.8（1%溶液）

相対蒸発速度（酢酸ブチル=1） : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : >96.7℃

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

燃焼性（固体、ガス） : データなし

蒸気圧 : データなし

20℃における相対蒸気密度 : データなし

相対密度 : データなし

密度 : 約 1.27 g/mL 比重

溶解度 : 水：完全に溶解

Log Pow : データなし

Log Kow : データなし

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート

2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

動粘度 : データなし  
粘度 : データなし  
爆発特性 : データなし  
酸化特性 : データなし  
爆発範囲 : データなし

## 9.2. 他の情報

追加情報なし。

## セクション 10 : 安定性および反応性

### 10.1. 反応性

追加情報なし。

### 10.2. 化学的安定性

通常の使用条件下で安定。

### 10.3. 危険有害反応性の可能性

危険有害な重合は起こらない。

### 10.4. 避けるべき条件

混触危険物質。熱から離して保管する。直射日光。

### 10.5. 混触危険物質

一般的な金属（スチール、亜鉛メッキ品、アルミニウム）に付着すると、腐食が起こり、高度に引火性の水素ガスが発生するおそれがある。酸、酸化剤、有機物、ハロゲン化合物、マグネシウム、亜鉛、クロム。

### 10.6. 危険有害性のある分解生成物

一酸化炭素。二酸化炭素。

## セクション 11 : 有害性情報

### 11.1. 毒性効果の情報

急性毒性 : 飲み込むと有害。

#### CIP 100™ - プロセス・研究用アルカリ洗浄

LD50 経口 ラット	860 mg/kg
ATE (経口)	500,000 mg/kg 体重

#### EDTA 三ナトリウム (64-02-8)

ATE (経口)	500,000 mg/kg 体重
----------	------------------

#### 水酸化カリウム (1310-58-3)

LD50 経口 ラット	214 mg/kg
ATE (経口)	500,000 mg/kg 体重

皮膚腐食性/刺激性 : 重篤な皮膚の薬傷  
pH : > 13 (濃縮液)  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 重篤な眼の損傷  
pH : > 13 (濃縮液)  
呼吸器または皮膚感受性 : 分類なし  
入手可能なデータからは分類不可  
生殖細胞変異原性 : 分類なし  
入手可能なデータからは分類不可  
発がん性 : 分類なし  
入手可能なデータからは分類不可

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート

2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

生殖毒性	: 分類なし 入手可能なデータからは分類不可
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類なし 入手可能なデータからは分類不可
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類なし 入手可能なデータからは分類不可

## セクション 12：環境影響情報

### 12.1. 毒性

#### CIP 100™ - プロセス・研究用アルカリ洗剤

LC50 魚類 1	> 750 mg/L (10%溶液)
-----------	--------------------

#### EDTA ミナトリウム (64-02-8)

LC50 魚類 1	41 mg/L (ばく露時間：96 時間 - 動物種：Lepomis macrochirus[静的])
EC50 甲殻類 1	610 mg/L (ばく露時間：24 時間 - 動物種：Daphnia magna)
EC50 他の水生生物 1	1.01 mg/L (ばく露時間：72 時間 - 動物種：Desmodesmus subspicatus)
LC50 魚類 2	59.8 mg/L (ばく露時間：96 時間 - 動物種：Pimephales promelass[静的])

#### 水酸化カリウム (1310-58-3)

LC50 魚類 1	80 mg/L (ばく露時間：96 時間 - 動物種：Gambusia affinis[静的])
-----------	--

### 12.2. 残留性と分解性

#### CIP 100™ - プロセス・研究用アルカリ洗剤

残留性と分解性	本品に含まれる界面活性剤は、洗剤に関する EU 規則、Regulation (EC) No. 648/2004 に定められている生分解性基準に適合する。この主張を支持するデータは、加盟国の所轄官庁が自由に使える状態にあり、直接請求または洗剤製造者への請求によって入手可能。
---------	--

### 12.3. 生物蓄積性

#### CIP 100™ - プロセス・研究用アルカリ洗剤

生物蓄積性	未確定。
-------	------

#### 水酸化カリウム (1310-58-3)

オクタノール/水分配係数	0.65
--------------	------

### 12.4. 土壌中の移動度

追加情報なし。

### 12.5. 他の有害影響

他の情報：環境中への放出を避けること。

## セクション 13：廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄物の処理方法

推奨される廃棄物処理：現地/国の規則に従って安全な方法で処理すること。

追加情報：空の容器および廃棄物を安全に処理すること。pH に応じた危険有害性廃棄物（腐食性）。

環境中への排出物：環境中への放出を避けること。

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート

2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

## セクション 14：輸送上の注意

運輸省に従う

### 14.1. 国連番号

国連番号（運輸省） : 1814  
北米運輸省番号 : UN1814

### 14.2. 国連正式輸送品目名

運輸省正式輸送品目名 : Potassium Hydroxide, Solution  
運輸省危険分類 : 8 - クラス 8 - 腐食性物質 49 CFR 173.136  
有害危険ラベル（運輸省） : 8 - 腐食性物質



包装等級（運輸省） : II - 中等度危険

### 14.3. 追加情報

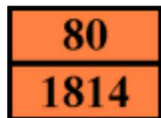
他の情報 : 補足情報なし。  
輸送上の特別な予防措置 : 4 x 1 ガロン包装の空輸は不可。車両/鉄道輸送 : ADR/RID クラス : UN1814、  
水酸化カリウム溶液、8、42(b) ADR

#### 陸上輸送

包装等級（ADR） : II  
クラス（ADR） : 8 - 腐食性物質  
危険有害性識別番号（Kemler 番号） : 80  
分類コード（ADR） : C5  
危険物ラベル（ADR） : 8 - 腐食性物質



オレンジプレート



トンネル制限コード : E  
微量危険物（ADR） : E2

#### 海上輸送

運輸省船舶荷積み場所 : A - 本物質は貨物船および客船の“甲板上”または“甲板下”に積み込み可能。  
運輸省船舶荷積みその他 : 52 - 酸から隔離し積み込む

#### 航空輸送

運輸省積載量制限 旅客機/客車（49 CFR 173.27） : 1 L  
運輸省積載量制限 貨物機のみ（49 CFR 175.75） : 30 L

# CIP 100™

プロセス・研究用アルカリ洗剤  
安全データシート

2012年改正危険情報伝達の連邦最終ルール（HazCom 2012）に基づく

## セクション 15：適用法令

### 15.1. 米国連邦規則

#### EDTA ミナトリウム (64-02-8)

米国 TSCA (有害物質規制法) リスト掲載

#### 水酸化カリウム (1310-58-3)

米国 TSCA (有害物質規制法) リスト掲載

### 15.2. 国際規則

該当なし

### 15.3. 米国州規則

該当なし

### 15.4. 国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
労働安全衛生法	表示・通知義務対象物質 No.316(水酸化カリウム)
毒物および劇物取締法	劇物 (第 2 条別表 2) 番号 53 (水酸化カリウム)
消防法	非該当
水質汚濁防止法	有害液体物質 (Y 類物質)

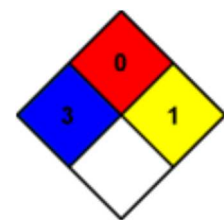
## セクション 16：他の情報

改訂日 : 2018 年 9 月 25 日

H フレーズの全文：

急性毒性 3 (経口)	急性毒性 (経口)、区分 3
急性毒性 4 (経口)	急性毒性 (経口)、区分 4
眼損傷性 1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性、区分 1
皮膚腐食性 1B	皮膚腐食性/刺激性 区分 1B
H301	飲み込むと有毒
H302	飲み込むと有害
H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
H318	重篤な眼の損傷

NFPA 健康障害	: 3 - 短時間のばく露によって重篤な一時的障害を 起こすことがあり、たとえすぐに医師の診断/手当を 受けても、後遺症が残るおそれがある
NFPA 火災	: 0 - 燃焼しない
NFPA 反応性	: 1 - 通常は安定であるが、温度や圧力の上昇によって 不安定になる、または水と反応し、激しくはないが エネルギーをいくらか放出することがある



### SDS US (GHS HazCom 2012)

本情報は、我々の最新知識に基づいており、健康、安全、および環境に関する要件を満たす目的で本製品を説明しているにすぎません。  
したがって、本情報は本製品の個々の特性を保證するものではありません。